

広報東彼杵

ひがしそのぎ

平成23年

6

JUNE
NO.525

広がる新茶の香り



渡邊町長 所信表明

東彼杵町長
渡邊 悟



若葉みなぎる季節を迎え、町民皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

この度、東彼杵町長選挙におきまして町民皆様方の信託を賜り、当選の榮に浴し、身に余る光榮に存じます。その責任の重さに身の引き締まる思いでいっぱいでございます。今日まで多くの先人の方々が築いて来られました自然豊かな東彼杵町の町政を5月22日付けで担うことになりました。就任の日、早速、彼杵小学校の運動会のご案内をいただきました。東彼杵町の将来をになう子どもたちの姿を見ながら、町政のあるべき姿を、再認識しました。



▲ 彼杵小学校運動会

私、この40年間東彼杵町役場職員として勤務させていただき、町民皆様方に育てていただきました。心から感謝申し上げます。町民皆様のために真面目に誠意と責任をもって全力で取り組んでいく覚悟でございます。これまで役場職員として産業振興をはじめ施設整備など行う場合、常に地域の皆様と膝を交え対話をいたしました。この対話が私の宝ものです。

これからはより多くの町民皆様方との対話を大切に、貴重な皆様方の声を町政に活かして、町民皆様と一緒に町づくりを行いたいと思います。

そして議員皆様のご理解と職員の協力を得ながら行政と議会に光をあて、風を通して公平公正な町政を目指します。

まずはできることから「小さな第一歩」をしっかりと

りと焦らず腰をすえて、しかも迅速に仕事をすすめて参ります。

今、東彼杵町は人口が加速しながら減少しています。これは全国の現状でもあります。

その要因は少子高齢化、若者の町外流出、未婚・晩婚化などです。若者の流出の最大の要因として、働く場所がない、少子化に伴う教育環境、買い物や遊ぶところがないなど、数多くの課題があります。

この人口減、少子化対策に次のような施策が考えられます。

- ① 産業振興・雇用の創出
- ② 社会環境の整備
- ③ 子育て・教育力の強化
- ④ 健康長寿対策
- ⑤ 交流人口の拡大
- ⑥ 定住促進

産業振興と雇用の創出、産業は町の財政基盤を支え、町民の生活の安定や暮らしに活力をもたらします。このため企業誘致や震災の影響で企業の進出が見込まれるため早急な受け皿づくりを推進したい。

社会環境については、男女共同参画社会の形成として、これまで農業委員の女性登用などを行ってきました。今後、社会活力を維持向上するためにも、高齢者並びに女性の力が欠かせません。

結婚対策については、今まで出会いの場などの取組みが農業委員会や町づくり委員会などで鋭意努力して行われて来ましたが、なかなか簡単には参りませんが、東彼杵町には未婚の方が相当いらっしゃいますので、結婚しやすい環境づくりを進めて参ります。

子育て力について東彼杵町は先駆的な取組みがすでに実施されております。但し、子育て世代の転出に対する歯止めや人口流入の政策をどう組み立てていくのかを検証するとともに積極的に取り組みたい。

地域の教育力の強化については、家庭・学校・地域との連携をより一層努力し、学習支援チーム派遣事業など長崎県が行う事業などと連携し、小中学校の学力向上にも取り組みます。

健康長寿対策として、明るく生きがいのある充実した生活をおくるうえで、健康づくりは、特に大切な施策です。健康で活力ある町づくりを行うため、生活習慣病の予防や生活習慣の改善とスポーツ・レクリエーションが気楽にできる環境づくりを推進します。

交流人口の拡大として、道の駅を中心に年間相当の昼間人口が流入しています。また、龍頭泉や江の串川河川公園をはじめ東彼杵町には豊かな自然が数多くあります。この地の利を活かし、やすらぎと癒しの空間となる、心に活力を与えてくれる、パワースポットとしても、町外からのお客様が再来できる取り組みに努力したいと思います。あわせて、町民皆様にも、散策や積極的な利活用をよろしくお願いたします。



▲ 道の駅 彼杵の荘

定住促進につきましては、田舎暮らしをテーマにした、みどり豊かな東彼杵町の魅力を情報発信して参りたいと存じます。

人口減少は地域社会を衰退させる方向に進みますが、同時にそれを克服しようとする地域住民の努力は負の力を乗り越える力を生み出すこともありますので両面からとりくみたい。

私は、町長給与を50%カットし、半額で身を挺して町政に望む決意でございます。給与条例改正につきましては是非ともご同意いただけるものと確信いたしております。

これまでの農林水産業について、日本は農業大国で国内生産額8兆円。世界第5位であります。しかし厳しく弱い産業とされ、農家所得向上は先が見えない状況で農業経営者は減少の一途であります。水産業、林業等、基幹産業の衰退は町の衰退でもあります。既存の施策を中心に六次産業の導入など、試行的な施策を行って参ります。

商工業の振興につきましては町内での消費が原則であり、町民皆様のご理解が極めて重要であります。現状を検証し時代にあった施策を調査研究します。

福祉・医療につきましては、高齢社会や厳しい生活環境のなか国県のめまぐるしい政策等によって年々

コストの増加は必至となっております。これらは弱者対策であり手厚い対策は避けて通れない厳しい現状であります。予防医学の観点から健康診査、保健指導をさらに強化し、健康なまちづくりを推進します。

教育振興につきましては、子どもたちの健全な成長で規則正しい教育環境が形成されています。しかし、児童生徒数は少子化による減少の一途であり、クラブ活動や教育環境に支障を来しているのではと危惧いたしております。このため教育委員会とともに慎重な議論を行い、あるべき姿を模索し、子どもたちのための学校づくりで児童生徒の生きる力を育む、よりよい教育環境の整備を図ってまいります。

社会環境につきましては、公共交通を再考し町民皆様の足として確保するため、利用環境の変化など実態をみつめ、あるべき姿を見直します。国・県道の整備促進と町道改良による利便性の向上、さらには下水道整備については将来に大きな負担が課せられます。このため、合併浄化槽の普及を含めた事業計画で推進したい。又、環境にやさしいまちづくりを推進し生活環境の向上を図って参ります。

地方自治体は、いつの時代にあっても、どこの地域にあっても多くの課題を抱えています。東彼杵町においても、先人たちが背中を見せ、汗を流し、戦後からの復興で私たちに素晴らしい東彼杵町を残してくれました。今度は私たちが町民皆様と手を携え、英知を結集し、限られた財源を使い、背中を見せ、汗を流し、子どもたちや孫たちに素晴らしい東彼杵町を残して参りたいと存じます。

所信の一端を述べさせていただきましたが、私は町長として、町民皆様方との対話を何よりも大切に、皆様方の声を町政にいかしていきたいと考えております。風光明媚な東彼杵町の地の利をいかし、「このまちに住んでよかったと感じる町づくり」を町民皆様および議員皆様と一緒に目指したいと思っております。

厳しい現状の中ではございますが、町民皆様並びに議員皆様のご支援、ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。



新議員紹介

(敬称略)

吉永 秀俊 (60歳・3回)

里地区 無職



本町では、急激な人口減少による普通交付税の減額や大震災の影響などにより、厳しい財政状況が予想されます。住民・行政・議会が一体となって知恵を出し合い、一緒に汗をかく、まさに『協働の町づくり』時代の到来です。議会の透明性・活性化、議員の技量・レベルアップが益々求められます。多くの皆さんの負託に応えるため、初心を忘れることなく、町民皆さんの声を真摯に受け止め、一緒に考え、教育・環境・福祉の向上を目指し、心豊かな人が住む町づくりに取り組みます。

森 敏則 (59歳・4回)

瀬戸地区・自営業



私は、これまでの経験を活かし四期目の課題として、東彼杵町の十年後、二十年後を創造(町の将来像を見据え実効ある振興計画を策定)した施策が必要と考えます。国県の事業認可等、豊かな水と緑を活用した特産品等、貴重な町の財産をPRする町のトップセールスに駆け回ります。又、「議会の改革」と「議会の運営」に取り組み、町民の皆様に評価いただけるよう、様々な課題に取り組む覚悟であります。

堀 進一郎 (69歳・3回)

千綿宿郷・農業



町民の皆様方の負託に応えるために、本町の貴重な自然環境と社会資本の有効活用を生かし、若者達が集まり将来に向かって、安全、安心で住み良い活力ある東彼杵の町づくりを目指します。町政に対しましては、町民主体の施策を行うため、的確な対応を図り行政の推進に「一意専心」全力を傾注し推進する覚悟でございます。ご協力を宜しくお願い申し上げます。

氏名 (年齢・当選回数)
出身地 職業
抱負

福田 修 (60歳・3回)

平似田地区・保険代理店業



東日本大震災で被災された皆様には心よりお悔やみと、お見舞い申し上げます。改めて町の防災意識の向上と安心、安全、心豊かな地域づくりに取り組まなければならないと再認識しているところです。交付税、補助金等不透明な中での財政運営であります。2期8年の実績を踏まえ、地域力の向上、開かれた議会として更なる町づくりに努力いたす決意です。

浪瀬 真吾 (59歳・3回)

川内郷・農業



東日本大震災や景気低迷による雇用の悪化等で地方行政は益々厳しくなっていくものと考えます。そういう中において、県央に位置する地域の特性・利便性を活かした郷土の更なる発展の為に、農業など産業振興に積極的に取り組み、また、若者が定住し、子育てし易い環境と教育環境の充実を図り魅力ある町づくり、更に老後を安心して暮らせる町づくりの為、町民皆様方の目線に立ち、全力を傾け知恵と工夫を凝らし議員としての職責を果たして行きたい。

滝川 初夫 (63歳・1回)

蔵本地区・農業



町民の皆様方の付託の重さに責任を痛感致しております。先般の東日本震災の国難により国は元より地方自治体の財政状況も厳しくなります。そういう現況下の中、東彼杵町では産業、教育、福祉、文化、環境など数多くの案件があるものと思っております。又、高齢化、少子化、人口減など問題が山積しているなか、本町を交流から定住へという魅力ある街づくりの為に町民皆様との対話を重視しながら町政に反映させたいと考えております。

後城 一雄 (64歳・4回)

橋ノ詰地区・理容業



国の行財政基盤が脆弱の上に東日本大災害が重なり今後の地方に及ぼす動向が非常に心配される現況であります。私はこういった時だからこそ心と心の触れ合い絆を大切に、町民皆様方と信頼関係の構築を図りながら一致団結し、一歩でも皆様方が思われる町行政でありたいと考えております。初心を忘れず有言実行、安心、安全で活力ある町づくりに誠心誠意、取り組んでまいります。町民皆様方のご理解とご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

佐藤 隆善 (61歳・1回)

本町地区・無職



合併は出来ない、財政は苦しい、少子高齢化人口減少等マイナス面ばかりにスポットが当たっていますが、歴史と伝統、自然の恵みに感謝し、この町の良い所を町民皆様方に再認識していただき、更に町外に発信していくことが大事と考えています。私達の東彼杵町を町民の皆様と一緒に元気な町にすることを第一として、議員活動に取り組んでまいります。

橋村 孝彦 (62歳・2回)

下三根地区・会社員



2期目の当選でございますが初心に帰り議員の役割と責任を再認識し、粛々と職務を遂行すると共に、本町の将来と町民皆様の幸せを願うご奉仕致します。又、議会改革も課題として取り組みたいと考えております。

樋口 庄次郎 (63歳・2回)

西三根地区・農業



風光明媚な東彼杵町。若者の定住促進、老後も安心して暮らせる、住みたいと思う環境作りを目指します。地方自治体の財政状況も厳しく、問題点も多い中、町民の皆様方の声を聞きながら行政と一緒に議員としての役割を果たして行きたいと考えております。当町は農業立町であります。全般的な地域振興のため積極的に取り組みます。それと同時に災害に強い防災対策事業にも力を傾注します。町民皆様方の御指導ご鞭撻をよろしくお願い致します。

本下 利之 (64歳・2回)

彼杵宿郷・専業議員



一期4年間の経験を活かし、事業の継続、又は新規に対し積極的に成果を求めて真摯に取り組みます。義務教育の充実、特に中学校生活に着目。議会では、通年議会制定に努力したい。年中フルタイムの活動期間を確保し、住民の期待にしっかり応えられる、開かれた議会づくりの推進、町民全体に福祉の向上と若者が集まる環境づくりを目指して努力します。

岡田 伊一郎 (57歳・2回)

蔵本地区・無職



議会の役割は行政が適法適正にしかも公平公正になされているかどうかを批判し、監視することはもちろんですが、政策の提言も必要です。行政に対し厳しい姿勢で臨むなら議会自らも改革に臨まなければなりません。私は議員定数の削減や住民の方々が気軽に傍聴でき、身近に感じてもらえるよう日曜日とか夜の議会開催を提案します。薄氷をふむ思いの中で、勇気と力を糧にゼロから再出発する気持ちで「虚心坦懐^{きょしんたんかい}」を座右の銘として、ふるさとのために全力でがんばります。

※掲載内容はすべて議員の申し出により掲載しています。
※5月27日行われた、第2回臨時議会において、議長は森敏則氏に副議長は本下利之氏に決定しました。





千綿中学校 1年生「緑のカーテン」作りに挑戦

植物を建物の外側に生育させ、建築物の温度上昇の抑制を図る「緑のカーテン」。

授業を受けやすい環境を作ろうと、千綿中学校の先生たちの発案で5月31日、緑のカーテンづくりに取り組みました。当日は、地球温暖化防止委員の市川先生を招き、緑のカーテンについての講義が行われました。千綿・彼杵婦人会の方も協力し、緑のカーテンとなるゴーヤを植え、1年生教室前のベランダに設置しました。

森飛駿君は「涼しい環境で勉強をがんばります」と話してくれました。



そのぎ茶を奉納



そのぎ茶市初日にあたる5月13日、彼杵神社でお茶の生産に感謝する「献茶祭」が行われました。

献茶祭では、そのぎ茶振興協議会会長のほか生産者代表の中山一明さん、茶商組合代表者の岡田金助さんが今年の一歩茶を奉納しました。

今年の新茶は、茶樹の冬場の休眠が十分な上、適度な雨で栄養分の吸収がよいことから、「形・香り・味・色」を兼ね備えた、申し分のないお茶ができたとのことです。

安全運転をお願いします

春の全国交通安全運動が5月11日から20日まで行われました。期間中の5月13日には、川棚地区交通安全協会主催による街頭キャンペーンが、国道34号線沿い鈴木病院下で行われ、川棚警察署、交通安全母の会、交通指導員らが参加しました。

参加者は、運転中のドライバーにチラシなどを手渡し、安全運転を呼びかけました。

平成22年中に町内で発生した事故件数は56件、負傷者は90人と過去3年間の中で最も多くなっています。



千綿小・中学校 茶摘み体験

千綿小・中学校の児童・生徒が学校所有の茶園（平似田郷）で5月6日、茶摘み体験を行いました。

子どもたちは保護者や上級生から摘み方を教わり、ひと芽ひと芽、丁寧に摘み取りました。

収穫した生葉は製茶加工し、希望者に有料で配られるそうです。

また、5月13日には千綿中学校の生徒が大村湾パーキングエリアで交通安全キャンペーンを行い、ドライバーに製茶したお茶を渡し、安全運転を呼びかけました。



大勢の人で賑わった「そのぎ茶市」

東彼商工会東彼杵支所が主催する「そのぎ茶市」が5月13日から15日までの3日間、開催されました。

通りには多くの露店が立ち並び、そのぎ茶や鯨肉などの特産物を買求める大勢の買い物客でにぎわいました。

町内に初夏の訪れを告げる「そのぎ茶市」の始まりは江戸時代で、お茶や海産物などの物々交換から始まったといわれています。そのぎ茶市は毎年5月第2金曜日から日曜日まで、開催されています。



「募金ありがとうございました」



そのぎ茶市で賑わっている商店街で『わくわくハウス緑の少年団』が、緑の羽根街頭募金活動を行いました。

「募金お願いします」と元気な声に、買い物客らは足を止め、募金に協力していました。

募金した方には、鉢に入った花の苗が手渡され、思わぬプレゼントを嬉しそうに持ち帰っていました。

募金されたお金は、地区での植栽活動など緑化推進事業に役立てられます。昨年は、各地区へプランターを配布しました。

